

～地域の輝き～

岩脇公園桜まつり（羽ノ浦町）

阿南

ふるさと阿南市のすばらしい魅力を再発見

第58回

# ぶらりまち紀行

桜に魅せられ、桜を魅せる人々の、  
熱い思いに触れた時、  
桜景色の美しさはいっそう心にしみてくる

桜に秘められた物語に想いを馳せながら  
桜並木を進むと、素敵な笑顔に出会える。



裏千家による野立。



やめら連の乱舞。



どんと鼓の演奏。



地元有志による模擬店。



地元の中学生の皆さん。



お餅でもてなす婦人会の皆さん。



「七曜星」による史跡めぐりのようす。



岩脇小学校金管バンド部の皆さん。



アルミ缶リサイクルで被災地支援を！



おにぎりをつくる婦人会の皆さん。

岩脇の桜は明治20年代に近郷の有志が植えたのが始まりとされ、まちのシンボルとして現在まで大切にされてきました。現在では、5000株の桜並木が続く桜の馬場、平成8年に整備された桜堤公園、桜の馬場から通じる妙見山一体を総称して岩脇公園と呼んでいます。花盛りを迎えるころ、大勢の花見客でにぎわいます。そんな憩いの空間を提供してくれるのが「さくらまつり保存会」の皆さん。一時、衰退しかけた保存活動の再起を願い6年前に結成されました。その活動は男性が中心ですが、イベント時には上岩脇婦人会の方も応援に駆けつけます。最近では、ボランティアガイドグループ「七曜星」による史跡めぐりも行われています。

桜と共に年月を重ねる人々。花は散れど、また巡りくる春を待ちわびる人々の笑顔はいつも満開です。

